

第1章 最近の経営状況と今後の見通し

調査票 問1

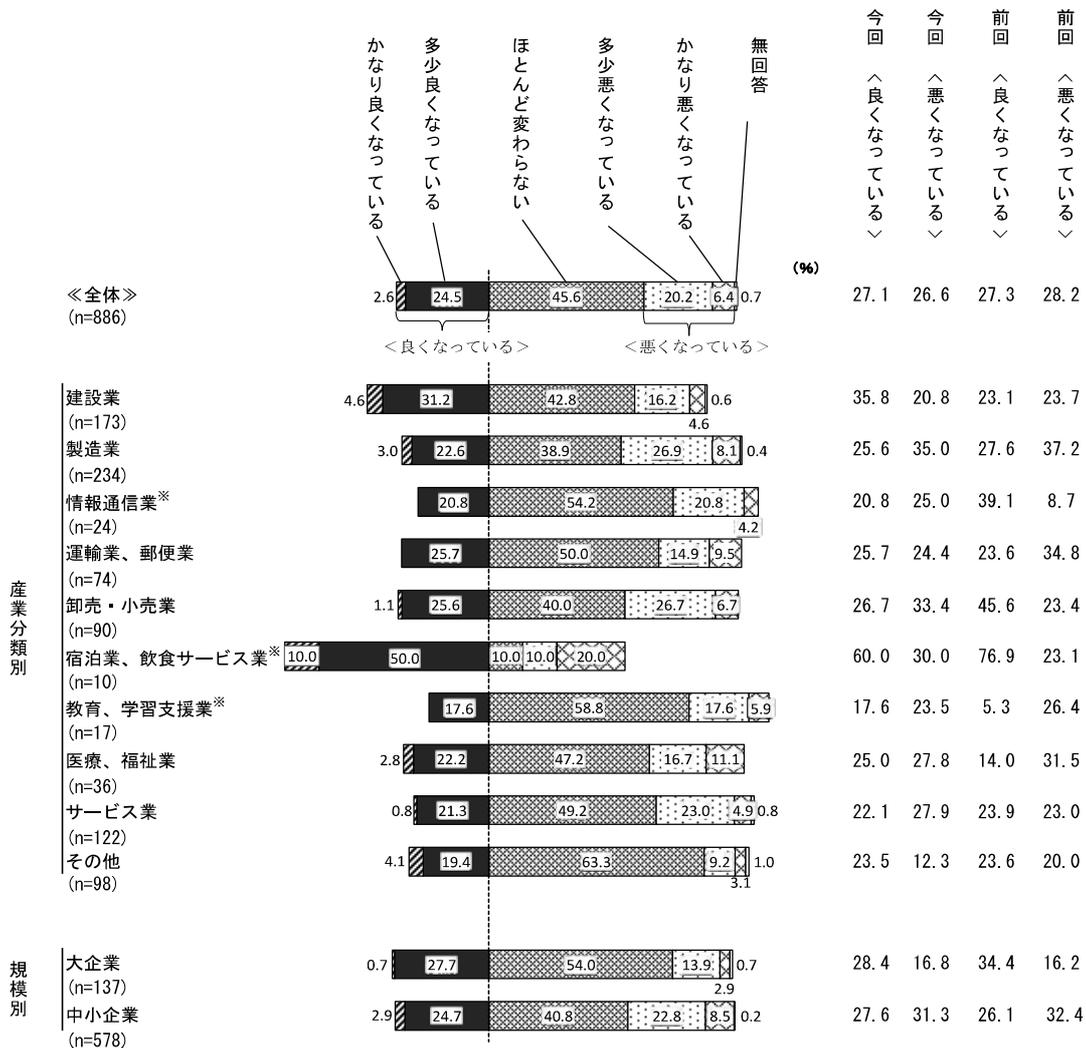
1 昨年同時期と比べた経営状況

第1-1-1図は、昨年同時期と比べた経営状況を示したものである。全体では、「かなり良くなっている」(2.6%)と「多少良くなっている」(24.5%)を合わせた<良くなっている>は27.1%となっている。一方、「かなり悪くなっている」(6.4%)と「多少悪くなっている」(20.2%)を合わせた<悪くなっている>は26.6%となっている。前回調査と比較すると、今回調査は<良くなっている>は同水準、<悪くなっている>は1.6ポイント低くなっている。

産業分類別でみると、<良くなっている>は建設業(35.8%)が最も高く、<悪くなっている>では製造業(35.0%)が最も高かった。前回調査と比較すると、<良くなっている>が建設業で12.7ポイント、医療、福祉業で11.0ポイント高く、卸売・小売業で18.9ポイント低かった。<悪くなっている>は運輸業、郵便業で10.4ポイント、卸売・小売業で10.0ポイント低くなっている。

規模別でみると、<良くなっている>は大企業が28.4%、中小企業が27.6%、<悪くなっている>は大企業が16.8%、中小企業が31.3%となっている。前回調査と比較すると、<良くなっている>は大企業が6.0ポイント低く、中小企業が1.5ポイント高くなっており、<悪くなっている>は大企業が同水準、中小企業が1.1ポイント低くなっている。

第1-1-1図 昨年同時期と比べた経営状況(生産・販売状況)



2 新型コロナウイルス感染症拡大による経営悪化要因

調査票 問2

経営状況が「悪くなっている」原因が新型コロナウイルス感染症拡大である場合に、その要因を答えてもらった。第1-1-2表及び第1-1-3図は、新型コロナウイルス感染症拡大による経営悪化要因を示したものである。全体では、「国内営業・販売に支障」(19.5%)が最も高かった。これに「国内物流・生産に支障」(12.7%)が続いている。

産業分類別でみると、「国内営業・販売に支障」が最も高いのはサービス業(23.5%)、「国内物流・生産に支障」が最も高いのも製造業(15.9%)となっている。

規模別でみると、「国内営業・販売に支障」は中小企業(21.0%)が大企業(17.4%)より3.6ポイント高く、「海外営業・販売に支障」は大企業(4.3%)が中小企業(1.1%)より3.2ポイント高くなっている。

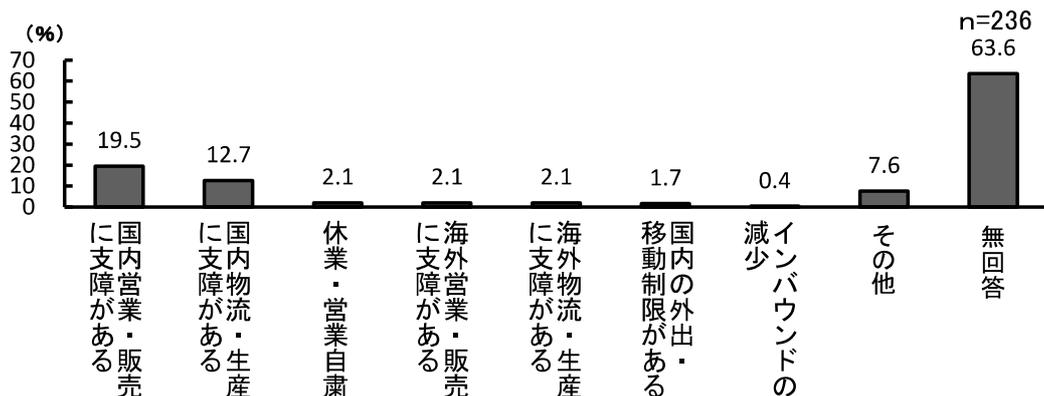
第1-1-2表 新型コロナウイルス感染症拡大による経営悪化要因

(単位：%)

		調査数	国内営業・販売に支障	国内の外出・移動制限	国内物流・生産に支障	休業・営業自粛	海外営業・販売に支障	インバウンドの減少	海外物流・生産に支障	その他	無回答
全体		236	19.5	1.7	12.7	2.1	2.1	0.4	2.1	7.6	63.6
産業分類別	建設業	36	19.4	2.8	8.3	5.6	—	—	—	5.6	69.4
	製造業	82	22.0	1.2	15.9	1.2	3.7	1.2	4.9	1.2	65.9
	情報通信業*	6	16.7	16.7	—	—	—	—	—	—	66.7
	運輸業、郵便業*	18	5.6	—	27.8	—	—	—	—	5.6	66.7
	卸売・小売業*	30	33.3	—	16.7	—	3.3	—	3.3	3.3	60.0
	宿泊業、飲食サービス業*	3	33.3	—	—	—	—	—	—	66.7	—
	教育、学習支援業*	4	—	—	—	—	—	—	—	25.0	75.0
	医療、福祉業*	10	—	—	10.0	—	10.0	—	—	40.0	50.0
	サービス業	34	23.5	2.9	5.9	2.9	—	—	—	11.8	55.9
その他*	12	—	—	8.3	8.3	—	—	—	16.7	75.0	
規模別	大企業*	23	17.4	—	13.0	—	4.3	4.3	4.3	13.0	60.9
	中小企業	181	21.0	1.7	13.3	2.2	1.1	—	2.2	7.2	63.0

*調査数が30以下は参考値のため、コメント・分析に含めていない

第1-1-3図 新型コロナウイルス感染症拡大による経営悪化要因



3 今後1年間の経営動向

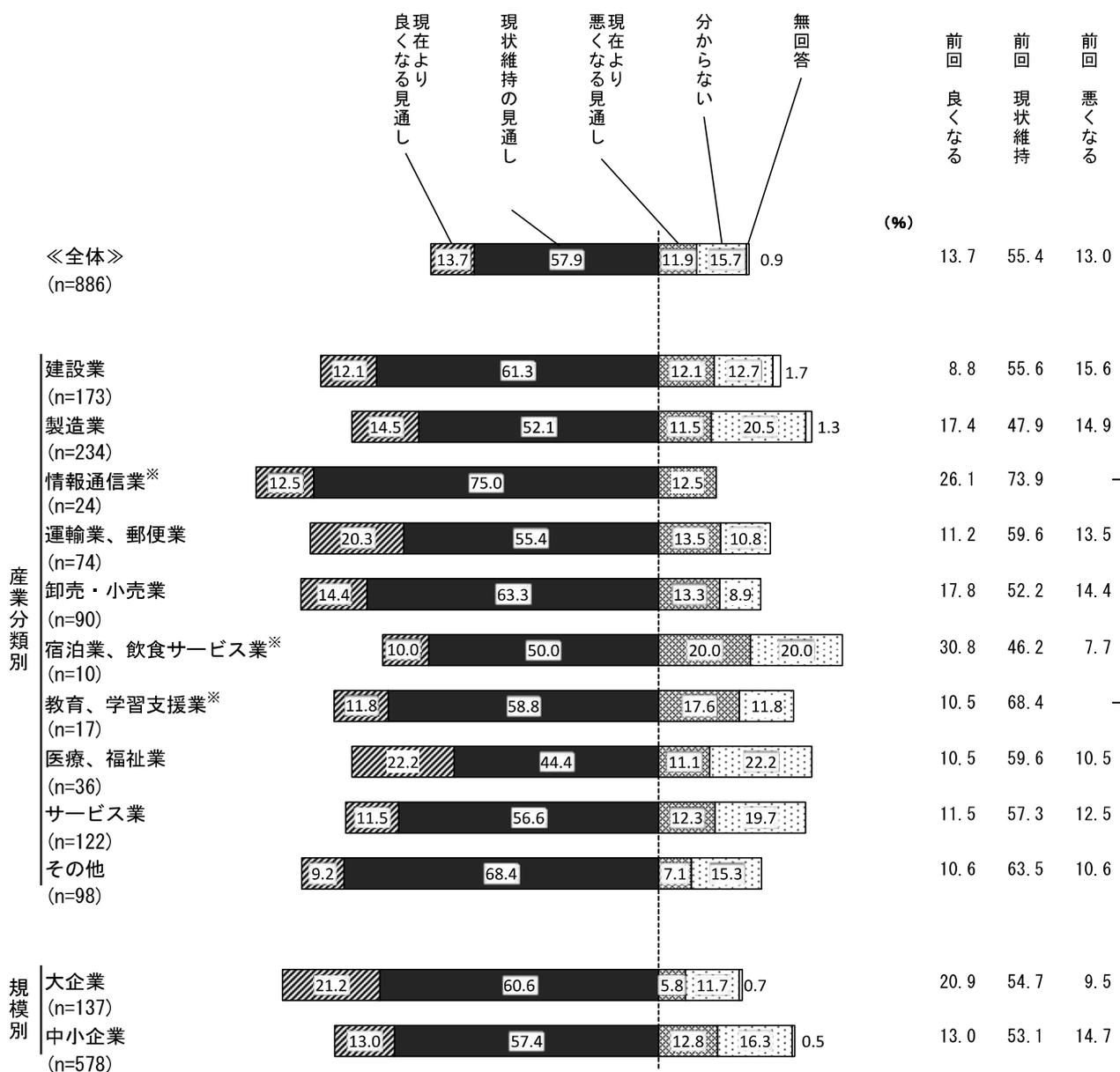
調査票 問3

第1-1-4図は、今後の経営動向の見通しを示したものである。全体では、「現状維持の見通し」(57.9%)が最も高かった。以下、「現在より良くなる見通し」(13.7%)、「現在より悪くなる見通し」(11.9%)の順となっている。前回調査と比較すると、「現在より良くなる見通し」が同水準、「現在より悪くなる見通し」は1.1ポイント低くなっている。

産業分類別でみると、「現在より良くなる見通し」が最も高いのは医療、福祉業(22.2%)となっている。前回調査と比較すると、「現在より良くなる見通し」は医療、福祉業で11.7ポイント、運輸業、郵便業で9.1ポイント高くなっている。

規模別でみると、「現状維持の見通し」が大企業(60.6%)、中小企業(57.4%)でともに最も高かった。前回調査と比較すると、「現状維持の見通し」は大企業で5.9ポイント、中小企業では4.3ポイント高くなっている。

第1-1-4図 今後1年間の経営動向



※調査数が30以下は参考値のため、コメント・分析に含めていない